

令和4年度(2022年度)

「つながり」だより

No. 1

令和4年(2022年)9月1日発行

編集発行：つながり事務局 子育て総合センター 研究研修チーム
TEL：0798-35-2857 (総合教育センター内)
FAX：0798-35-8001 (子育て総合センター内)

◇ 西宮市幼稚園・保育所・認定こども園・小学校連携推進事業「つながり」

就学前教育と小学校教育が円滑に接続できるように、小学校区を基本として地区割りを行い、年間を通して幼保認小連携の活動に取り組んでいます。

平成16年に公私立の枠を超えた校園所で組織された委員会で、就学前の子育て支援・幼児教育の在り方、幼保小の交流と連携の在り方について話し合われました。そして、交流・連携を強化するための取組みについて、公私立幼稚園・保育所、小学校の各校園所長会や各地区の管理職会議で趣旨説明を行い平成16年度末から本事業をスタートしました。

- (1) 第1回連携推進委員会 5月9日(月)実施 場所：総合教育センター(市役所東館7階)研修室2
「つながり」事業の中核をなす「連携推進委員会」は、公立幼稚園長会、私立幼稚園連合会、公立保育所長会、私立保育協会、小学校長会の各代表3名の計15名と事務局(子育て総合センター、教育研修課、保育所事業課、学校教育課、特別支援教育課)の計12名、合計27名で組織されています。
委員長、副委員長の選出の後、事務局から令和3年度の事業報告と令和4年度の推進計画を提案しました。委員の皆様からは、幼保小のお互いの保育・教育の理解、育ちと学びの連続性、教職員のつながりなどの重要性がご意見として出され、改めて「つながり」の大切さを感じました。

《推進委員の方々》

公立幼稚園：高木幼稚園・上築園長、春風幼稚園・疋田園長、南甲子園幼稚園・神崎園長
私立幼稚園・認定こども園：幼稚園型認定こども園 甲東幼稚園・菱田園長、
仁川幼稚園・竹下園長、すずらん幼稚園・松本副園長
公立保育所：今津文協保育所・丸山保育所長、浜協保育所・藪内保育所長(本年度副委員長)、
鳴尾北保育所・卜部保育所長
私立保育所・認定こども園：幼保連携型認定こども園 一麦保育園・梅村園長、武庫川女子大学
附属保育園・登佐園長、幼保連携型認定こども園 西宮夢・来田園長
小・義務教育・特別支援学校：高須小学校・岩本校長、鳴尾東小学校・井上校長、
生瀬小学校・石飛校長(本年度委員長)

次回は令和5年2月22日(水)実施予定

- (2) 地区別管理職会議 地区毎に4月～5月20日(金)の間に実施

(今年度の世話役は保育所・認こ)

「つながり」担当者会の開催日までに全12地区で地区別管理職会議が実施されました。

小学校からは入学後の子供の様子や今年度の学校行事の予定、幼稚園・保育所・認定こども園からは就学までにどのような力を育てたいかなどが話題になりました。今年度は、これまでコロナ禍の影響で中止せざるを得なかった交流活動について、5歳児の子供や保護者の就学にかかる不安を少しでも和らげるためには大変効果のある活動であるという認識のもと、感染対策を講じたうえで、工夫しながらできる限り有意義な交流活動を進めていきたいとの共通理解ができました。また、このような会があるおかげで、管理職同士が話しやすい関係ができ子供のことで連携がしやすくなったという意見がありました。



(3) 担当者会(186 校園所対象)

① 全体会・第1回担当者会 5月23日(月)・25日(水)実施 (今年度の世話係は保育所・認こ)

全体会で事務局から「つながり」事業の趣旨と担当者の役割についての説明後、地区別に分かれて担当者会を行いました。

自己紹介、世話係の決定後に、子供同士の交流内容等の検討や情報交換について熱心に話し合われました。今年度は幼稚園(認こ含む)が保育公開になっているので、各地区で、公開幼稚園の調整や確認が行われました。



参加170校園所：公幼13園、私幼・認こ31園、公保23園所、民保・認こ64園所(内8兼任)、小・義・特39校

《今年度の12地区の世話役と世話係の園所》

地区	浜脇1	浜脇2	大社1	大社2	広田1	広田2
世話役(管理職)	ゆめっこ保	今津文協保	夙川あすなろ保	安井保	聖和乳幼児保育センター	芦原保
世話係(担当者)	朝日愛児館	認こ 西宮つとがわYMCA保	夙川あすなろ保	認こ ニコニコ桜夙水園(分園)	月影保	瓦木北保
地区	甲東1	甲東2	上甲	鳴尾1	鳴尾2	北
世話役(管理職)	あんず保	なでしこ保	学文殿保	認こ 西宮夢	認こ 高須の森	認こ やまよし Kids garden
世話係(担当者)	あんず保	やまと保	認こ 西宮セリジェ保	武庫川女子大学附属保	認こ 高須の森	認こ やまよし Kids garden

② 第2回担当者会

7月8日(金)～19日(火)の間で事務局が指定した日程で実施
現在の各校園所のコロナ禍での子供の様子や実情等、情報交流をしました。また、教職員相互研修(保育公開)について、公開幼稚園(認こ含む)の確認や日程、参加校園所の再確認等が行われました。また、小学校区に分かれて、子供の交流活動についての計画や情報交換も行われました。

参加151校園所：公幼11園、私幼・認こ26園、公保23園所、民保・認こ53園所(内8兼任)、小・義・特38校

(第3回は2月下旬に実施予定)

(4) 研修

○教職員相互研修 (今年度は幼稚園・認こが公開) ※参加人数を制限

保育・教育の場で参観と意見交流を行い、子供の発達に即した指導や円滑な接続について理解を深め、実践に生かせるように実施しています。7月までの公開実施園は4園です。

浜脇1：認こ いるか幼稚園(6月)

甲東2：高木幼稚園(6月)

大社2：夙川学院ソレイユ認定こども園(7月)

鳴尾1：光明幼稚園(7月)

《参加された小学校先生の感想》

- ・5歳児の今の時期から、“自分で考える”“自分で(活動を)選ぶ”“友達と協力する”といった自発的な活動を「忍者になりきる」という、ワクワクした内容の中で取り入れていくことで、子供たちが自立していくのだなと感じました。
- ・子供たちが自ら場を作り、体を動かしている姿に感心しました。どこの部分をきたえるために、どんな場を作ったらいいかを試行錯誤する姿は、とてもいきいきしていて、小学校でも実践していきたいと感じました。いい所を積極的に見つけ全体の場で交流し、子供に還元していくことができるように、温かく子供を見守ってきたいです。

※一部、幼稚園型認定こども園、幼保連携型認定こども園を「認こ」と記載しております。